

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-3-2 情報発信等誘客宣伝活動の強化
---------	---------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	観光振興課長 木次 淳	電話番号	0852-22-5625
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	県内航空路線利用促進（観光振興）事業		
目的	(1) 対象	様々な観光ニーズを持つ人々	
	(2) 意図	航空路線を利用して島根県を訪れてもらう	
事業概要	萩・石見空港において県内空港利用促進対策と相乗効果を生む観光振興対策を実施する		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	萩・石見空港旅客数	目標値	13.0	13.5	13.8	14.1	14.5
			取組目標値			14.4	14.9	14.9
	式・定義	萩・石見空港利用実績調査（萩・石見空港利用拡大促進協議会作成）	実績値	12.6	12.2			
			達成率	97.0	90.4			%
2	指標名		目標値					
			取組目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	30,553	50,000
うち一般財源 (千円)	30,553	40,175

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

萩・石見空港を利用した旅行商品の造成促進のため、旅行会社に対してパンフレット助成やインセンティブ付与等を実施した。また、空港利用者の利便性向上を図るためレンタカー割引を組み込んだ旅行商品造成支援も実施した。  
 なお、石見地域の魅力を体験してもらうため、神楽めしクーポンや石見ぶらり手形を発行し、空港利用者の観光満足度の向上を図ったり、石見地域の観光情報をPRするため、WEB活用による情報発信も実施した。  
 （東京線）平成26年3月30日から期限付きの2便化。本年10月の羽田発着枠政策コンテストにより、平成31年度末までの2便化継続が決定。H28年度利用者数は1,19人、482人、利用率は49.9%（H27年度は122人、472人、55.2%）。  
 （大阪線）H23年度に定期便から期間限定便となる。H28年度利用者数は2,169人、利用率は81.4%（H27年度は3,250人、49.9%）

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

運賃助成、レンタカー助成による利用拡大の取り組みや、県が推進役となる萩・石見空港東京線利用促進対策会議を設立する姿勢などが評価され、H29年10月の国土交通省の羽田発着枠政策コンテストの審査において、2便化継続が決定された。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

東京線は、H29年10月の国土交通省の羽田発着枠政策コンテストの審査において、H30～31年度の2便化継続が決定されたものの、H29年度の目標142,000席、H30年度の目標147,000席の達成に向け、さらなる取組強化が求められる。  
 大阪線は、H23年度に定期便から期間限定便となっている。利用者数はH26年度以降は減少傾向であり、定期便の再開に向けて更なる利用促進策に取り組む必要がある。

### ②困っている状況が発生している「原因」

石見地域の観光地としての魅力が首都圏や関西圏の旅行者にあまり認知されておらず、旅行先として選ばれにくい。

### ③原因を解消するための「課題」

石見地域における観光素材や旅行商品の造成に引き続き取り組み、観光地としての魅力向上を図るとともに、県外（主に首都圏・関西圏）に対する情報発信を強化する必要がある。  
 併せて、旅行者が快適に萩・石見空港を利用した旅行を楽しめるよう、空港からの2次交通の充実を図る必要がある。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・（旅行商品造成）搭乗実績に応じたインセンティブ付与により、個人、団体客の増加を図る。
- ・（山口県との連携）萩市、長門市内の観光素材との組み合わせにより、魅力ある周遊ルートづくりや両県連携による情報発信を行う。
- ・（2次交通対策）山口圏域を広域周遊バスの運行やタクシー助成により利便性を高め、誘客を行う。
- ・（地元観光素材の活用）若年層、女性の来訪意欲を高めるための石見神楽の新たなプロモーション展開を行う。
- ・（情報発信）萩・石見空港を利用したテーマ別モデルコースを設定し、旅記事形式でWEB、雑誌等効果的媒体を選択して発信する。また、石見への来訪の目的やメディアが取り上げる話題となるようなコンテンツづくりにより、メディアプロモーションを強化する。